

来週は修学旅行 その2

修学旅行は、これで11回目です。

1回目は、自分の高校時代。姫路城から奈良に泊まり、京都市内を見て回りました。最初の日がクラス全員45人一室の大部屋で、夜眠ることなく、ひたすら起きていました。なぜなら、横になると誰ということなくみんなが布団蒸しにするからです。とても大変な一夜でした。

2回目は、北海道。定時制高校で、2年生から4年生までの15人を引率しました。洞爺湖畔のホテルが旅情深く、札幌大通りでトウモロコシをほおばったのがとても印象深く今も思い出されます。

3回目、4回目、5回目が田村高校で、京都・奈良を中心に、広島にも言ったのが5回目でした。止まる宿は、京都「三木半」だったのを思い出します。

6回目、7回目が磐城高校。特に7回目は、沖縄の修学旅行が2001年のテロ事件で取りやめになり、大阪・京都に1月30日に行ったことを思い出します。USJが貸し切りでした。

8回目は、橘高校。広島と奈良・京都でした。高山寺に行き、鳥獣戯画の手ぬぐいを買ってきました。

9回目、10回目は勿来高校で沖縄。特に沖縄ハイアットホテルに泊まったのですが、広くて素晴らしくてびっくりでした。首里城が美しかった。この間焼けてしまったのが惜しまれます。

そして今回が、教師人生最後の修学旅行です。

京都には、高校1年生の8月に甲子園応援で10泊11日で過ごしたのを皮切りに、大学時代には、立命館大学に行った友人の下宿とアパートなどを拠点として、1週間ぐらい二度訪れたので、とても親近感があると同時に、土地勘もあります。

今、下京区京都河原町付近に息子も住んでおり、何の因果なのか、関係深い土地なのです。京都の様々な文化が魅力的です。魅力的であるとともに、我々などには及びもつかない排他的な部分もあります。

今回もそんな京都の一隅を訪れて、旅の身の上を楽しめたらと思います。

ぜひ、御所の中を訪れて、古文の世界を満喫したいと思います。紫式部や清少納言が暮らした空間を1000年の時を経て確認できればいいと考えます。

息子もどこかで登場する予定であり、久しぶりの姿を確認できればと思います。